海老名秋田県人会
会報
第25号
令和8年
11月1日
発行
会員65名
（10/1現在）
海老名
秋田県人会
046-231-0072

私のボランティア活動と仲間



副会長　菅谷　昭子

私は「NPO法人えびなの森の楽校」という団体でボランティアをしております。「森の楽校」の楽校は「がっこう」と読みますが、学校ではなく自然の中で共に森を楽しむ、ということで「楽校」です。

活動場所は海老名インター手前の大谷水門の傍の三日月形の緑地です。森の楽校は市民の憩いの広場にするため四季のいろいろな花や樹木を植えて維持管理を行っております。

１０年前は石ころ・砂利だらけでしたが今では芝も生え藤棚や樹木も大きくなり、暑い日の木陰を作ってくれています。藤棚で休む人や花の写真を撮りに来る人、犬の散歩や保育園児の遊び場として市民の憩いの場となっております。散歩の方々に「お花がきれいねー」「ありがとう」と云われると頑張りがいがあります。



私たちの活動は毎月第一第三の土曜日が定例活動日でしたが、あの広さと草の成長の早さに負け、今では毎土曜日に作業を行っております。

私たちはおしゃべりをしながら草取りをし、草取りをし、休憩時間には差し入れのお菓子をつまんだり、夏にはアイスやスイカパーティで喉を潤したり（汗をかいた後の美味なこと！）。冬には枯草や枯れ枝を燃やしての焼き芋も楽しみな一つです。

また啓蒙事業として、緑の日の緑化フェスティバルや市内の小学生対象の杉久保緑地での里山体験教室（木こり・ブランコ・落ち葉プール等）親子でのドングリ粉ピザ作り、１２月にはイオンでクリスマスリース作りなども行います。他にもえびなっ子スクールでは、東柏ケ谷小学校では紙漉き、有馬小学校では木工クラフトの手伝いをしております。このように私たちは緑の大切さを学び、子どもと一緒に楽しく遊ぶ会でもあります。



ここの緑地にはいつも四季の花が咲き乱れております。秋にはナンキンハゼの紅葉や弾けた白い実が可愛いです。最近の海老名は大きな建物ばかりで、海老名耕地の緑が少なくなってきました。淋しいですね。丹沢の山並みを見、田んぼからの心地よい風を感じながらの楽しい作業です。

皆様も森の楽校仲間に入りませんか。大歓迎です。散歩のついでに三日月地へ是非お立ち寄り下さい ■

秋田県人会の活動

①恒例のバス旅行実施



毎年この季節になると鬱陶しい梅雨の季節となりますが、恒例のバス旅行は６月１０日（水）に決行されました。

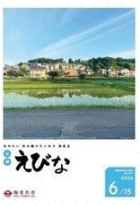
今年は参加希望者が２１人と少なかったため小型のバスでの出発となりました。横須賀に向かう際ポツポツと雨が降り出しましたがすぐに止み、その後は曇りだったので涼しい旅となりました

行程は「しょうぶ園」→「海産物のショッピング」→「マグロのランチ」→「横須賀軍港めぐり」を楽しみ、帰りはバス内でのビンゴゲームで盛り上がりました。来年も楽しいバス旅行にしたいです。

（写真は軍港めぐりにて）

②「広報えびな」で会員募集

「広報えびな６月１５日号」に海老名秋田県人会の会員募集記事を掲載したところ、なんと３名の方が新規入会されたとのニュースがありました。



今後の活動の盛り上がりに期待したいところです。１０月のなべっこ遠足「きりたんぽ会」に是非参加して下さい。

③「えびなにぎわい祭り」での会員募集は中止に

９月１３日(日)に海老名中央公園にて「えびなにぎわい祭り２０２６」が開催されました。

本イベントは、２０２５年までは７月下旬に開催していました。しかし、近年の酷暑を考慮し、今回から比較的暑さが落ち着く９月へ変更し新たに「えびなにぎわい祭り」へ名称変更しました。

このお祭りが日程変更になったため、この日に計画していた「なべっこ遠足」の役員会議を優先して実施し、今年度の会員募集は未実施となりました。 ■

